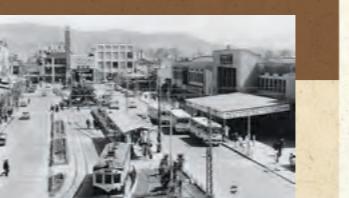




偉人の足跡 / 新野 進一郎 [明治43年～平成2年]

昭和12年に伊予鉄道に入社、のちに11代社長になりました。市内電車や郊外電車、バス・タクシーだけでなく船や飛行機など、交通網の発達を総合的にとらえ、道後温泉や松山市駅、松山駅

など交通の拠点を整備しました。戦前戦後から今日に至るまでのまちづくりに、交通・経済両面から取り組み、公共的・社会的責務を果たすという信念を貫きました。



昭和41年の松山市駅前の風景

9.第1回松山おどり

- 10.生石小学校で開かれた初の一日模擬市議会。市民約250人が参加
- 11.北部松山環状線が開通
- 12.市政に関心を深めてもらおうと、市役所で開かれた子供模擬市議会
- 13.復元を進めていた松山城小天守の上棟式
- 14.手石川ダムの竣工式
- 15.サクラメント市でアイゼンバーグ市長と姉妹都市の調印
- 16.道後公園に子規記念博物館が開館

- 1.第8回国民体育大会、大街道二丁目の歓迎ぶり
- 2.城山に開通したロープウェイ
- 3.昭和36年4月、全日空の松山～大分間航空路の直行開始
- 4.三津で開かれた港まつり
- 5.市制施行70周年記念式典
- 6.県庁前を出発するオリンピック聖火
- 7.市民会館の落成を祝う式典
- 8.子規・漱石・極堂生誕百年を記念して開かれた第1回全国俳句大会

昭和63年 二九八八年	昭和62年 二九八七年	昭和60年 二九八五年	昭和59年 二九八四年	昭和58年 二九八三年	昭和56年 二九八二年	昭和55年 二九八〇年	昭和54年 二九七九年	昭和53年 二九七八年	昭和51年 二九七六年	昭和50年 二九七五年	昭和49年 二九七四年	昭和48年 二九七三年	昭和47年 二九七二年	昭和46年 二九七一年	昭和43年 二九六八年		
10.8 16.1	3.5	1.4	10.9	4.2	9.7	8.24	6.2	4.2	8.27	2.21	3.31	7.24	11.4	4.1	11.3 15.27	10.10 26.25	5.27 22
ドイツのフライブルク市で姉妹都市提携調印	第一回「坊っちゃん文学賞」募集開始	総合ミニミニセンターの金施設が完成し、落成式	杖ノ淵が日本名水百選に選定	総合コミュニティセンター体育館の落成式	第一回松山春まつりを開催	第一回松山春まつりを開催	松山市役所が開設	松山市役所が開設	三津の渡しに新造船が運航	「松山市歌」を制定	北部松山環状線が開通	南部松山環状線が開通	市花に「つばき」を制定	市青少年センターが完成	市花に「つばき」を制定	市青少年センターが完成	

昭和42年 二九六七年	昭和41年 二九六六年	昭和40年 二九六五年	昭和39年 二九六四年	昭和37年 二九六二年	昭和36年 二九六一年	昭和35年 二九五九年	昭和34年 二九五八年	昭和33年 二九五七年	昭和32年 二九五六年	昭和31年 二九五五年	昭和30年 二九五四年	昭和29年 二九五三年	昭和28年 二九五二年	
9.3 15.27 20	9.8 17.12 13	7 10	9 12	6 28	5 3	4 1	12 15	4 10	4 10	8 7	5 1	10 1	10 22	9 30
点字広報紙「ひかり」を発行	高浜に觀光港造成	松山城山のリフト完成	第一回松山おどり開催(～8.14)	市井村を市に編入	小野村を市に編入	浮穴村を市に編入	松山城に市営のロープウェイが開通	久米村、湯山村、伊台村、五明村を市に編入	余土村を市に編入	興居島村を市に編入	国際觀光溫泉文化都市松山の市民憲章を制定	天皇陛下(昭和天皇)・皇后陛下(香淳皇后)をお迎えして、第八回国民体育大会開会式を堀之内競技場で開催(～10.26、四国四県共同開催)	松山上水道工事が完成し、旧市内的一部分に通水開始	